

第六十四回しろうま祭 全校生徒一丸で盛り上げる

「第六十四回しろうま祭」が、七月十日〜十二日の日程で開催されました。ここ数年雨模様の中での開催が続いていましたが、今年は晴天に恵まれ、一般公開の二日間で、四百三十九名の来校者をお迎えし、盛況に終えることができました。本年度は、展示・模擬店など企画をこれまで以上に充実させ、校舎のいたるところで楽しい催し物が取り組まれました。全校生徒が一丸となって取り組まなければ成り立たない生徒会最大の行事です。運営を進める上では大変なことがたくさんあったと思いますが、すべて貴重な経験になりました。地域の皆さまから、大きな刺激をいただき、ありがとうございました。

今年のテーマは「衝動」 とことんドンとこい!!!



開祭式

まず、企画の中心として準備をリードしてきたメンバーがステージ上に整列し、しろうま祭の始まりを宣言しました。続いて、メイנסテージの背景となる壁画および全校で取り組んだ白馬ジャンプ競技場のモザイク壁画が除幕され、各企画の期間中の展示やイベントの紹介がおこなわれ、威勢のいい八方太鼓の演奏で、三日間の成功を期しました。

合唱コンクール

クラス対抗で実施される合唱コンクール、文化祭の準備と並行して練習に取り組みなければならぬため、忙しい中でも時間を生み出し、集中力で取り組み必要があります。今



年は、その成果がしっかりと示されたコンクールでした。全体的にレベルが高く、二つのクラスが同点首位でした。声量もハーモニーも、甲乙つけがたい素晴らしい仕上がりのでした。合唱コンクールは、一般公開の企画ですが、今年も保護者など五十名を超える皆さんに来場していただき感謝を届けてくれたものと確信します。



平成28年度より 新たなスタート 国際観光科新設

六月十八日の長野県教育委員会定例会において、白馬高校の学科設置について審議がなされ、平成二十八年四月から普通科を一学級とし、新たに国際観光科を開設することが決定されました。

本校は生徒数が減少して県教委の高校再編基準に抵触することとなり、地域キャンパス化か他校との統合、募集停止が検討される対象となっていました。

白馬・小谷の両村からなる「白馬高校の将来を考える会」から、白

馬高校存続を骨子とした「地域案」が長野県教育委員会に提出され、それが正式に承認された形です。新たに設置される国際観光科は、大学進学を目指す国際コースと、国内観光分野での活躍を目指す観光コースで構成され、全国募集を行います。観光について国際的な視野で考えることができるとともに、地域の視点から地方創生に貢献できる人材の育成が目標です。グローバル（世界的な）とローカル（地域的な）を掛け合わせたグローバルという造語がありますが、目指すところはまさにその方向です。「豊かな自然と観光」というこの地域の財産を活かした実習を多く盛り込みながら、実践的な学びの場を提供できるよう内容を検討中です。

尚、普通科については、これまで通り地域高校としての役割を果たすべく、カリキュラムを再検討して、さらなる充実を目指します。新学科と普通科の両輪で、新たな学校づくりがスタートします。白馬と小谷の両村には、今後とも運営について参画していただき、また支援をお願いしながら、魅力づくりを進めてまいります。

一般公開

茶道部、美術部、写真同好会、生物同好会などの学芸系クラブ展、一学年および二年生の総合学習や家庭科などの授業展、また保健委員会や代議委員会による展示などが行なわれました。総合学習の展示では民話コース



のカルタや切り絵の掲示物が目を引きました。また野外コースのそば屋は、その場でそば打ちをして、振る舞うという企画で賑わいを見せていました。

部員数の少ない吹奏楽部は単独での演奏は困難なため、小谷吹奏楽クラブとの合同演奏を行い、また八方太鼓も関係者の皆さんの指導により、充実した発表を行うことができました。



PTA展

生徒昇降口前に設営された模擬店は好天にも恵まれ、賑わっていました。保護者の皆さんにも、PTA企画として屋台を出店していただきました。今年は、PTA・職員展として、作品展示もしていただき、関心を集めていました。

里山の自然を学ぶ （環境）

地域高校である白馬高校では、地域を題材として、地域のすばらしさや課題を学ぶ科目をカリキュラムに取り入れています。その一

つが理科の学校設定科目である「環境」です。「環境」では、白馬や小谷の自然を実地に観察し、体験をして、生物とそれを取り巻く環



境について理解を深めるとともに、環境調査や測定に対する基礎的理論と実践力を養うべく、授業展開をしています。

六月十七日には、「白馬いい森づくり」の会長 田中要さん、副会長 竹田旭雄さんらメンバーの皆さんに指導していただきながら、森林整備作業の実習を飯森で行いました。

斜面上で間伐材を集めて、すべり落ちないように横に並べる作業や、チェーンソーによる伐木を体験しました。全員が初めて経験

した。急な斜面の作業の大変さを実感しながら、森林の果たしている大切な役割を再認識し、また人の手を入れて管理することの重要性を学ぶことができました。

